

科目名	学生生活入門 I	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			総合政策学部	■必修 □選択
英文表記	Introduction to University Life I	開講年次	■1年 □2年 ■3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	きむら きよし・さとう ひろし・はしもと しほ・ゆざわ まこと	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	木村 澄・佐藤 寛稔・橋元志保・湯澤 真	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	主体的な学びの姿勢の育成、基礎的なスタディスキルの修得、生活指導ならびにキャリア・サポート			
到達目標	1. 大学生として必要な主体的な学びを実践するための知識・研究倫理を身につけることができる。 2. 大学における学修のための基礎的なスタディスキルを身につけることができる。 3. 自身の進路をはじめとする目標の実現に向けて、必要な知識と計画性を身につけることができる			
授業概要	大学では自らの専門分野のみならず、様々な分野の学問に触れ、教養を高めることが重要です。そのためにも、「主体的に学ぶ」姿勢とスタディスキルの基礎をしっかりと身につける必要があります。また、体験学修などを通して、コミュニケーション能力を高めていくことも大切です。この授業では、大学生活を有意義に過ごすために必要な知識及びスタディスキルを総合的に学びます。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション・研究倫理教育			
第2回	大学における学び			
第3回	外部講師による講話（みずほ証券による金融詐欺に関する講話）（経済学部と合同）			
第4回	総合学修 I			
第5回	資料調査の仕方・図書館の利用方法			
第6回	PROG テスト受験会（経済学部と合同）			
第7回	ノートテイキングの方法			
第8回	キャリア・デザインについて考えよう			
第9回	学外研修			
第10回	キャリア・デザインと学外における学び			
第11回	SNS を使用した犯罪に巻き込まれないために			
第12回	Virtual Trip で学ぶ国際事情			
第13回	総合政策の基礎			
第14回	総合学修 II			
第15回	前期の反省・個人面談			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	[予習]授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やWEBサイトなどを活用して予習を行ってください。(60分程度) [復習]ノートや配布資料を確認し、与えられた課題に取り組み、復習を行ってください。(90分程度) [その他]日常的に新聞やニュースに触れ、今、社会で起きている出来事に関心を持ってください。(30分程度)			
履修条件 受講のルール	総合政策学部1年生の必修科目です。 大学生らしい整容と主体的な学びの姿勢が求められます。			
テキスト	ポータルサイトで掲示するか、資料を配布します。			
参考文献・資料	適宜配布(ポータルサイト含む)するか、授業の際に紹介します。			
成績評価の方法	下記の評価項目を基にして総合的に判断します。 ①主体的学びの姿勢 (20%) ②課題の提出と発表 (30%) ③定期試験 (50%)			

	<p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・木村 澄：火曜日 14時40分～16時10分／木曜日 13時00分～14時30分 ・佐藤寛稔：月曜日 9時00分～10時30分・10時40分～12時10分 ・橋元志保：木曜日 14時40分～16時10分／金曜日 14時40分～16時10分 ・湯澤 真：火曜日 13時00分～14時30分／木曜日 10時40分～12時10分 <p>※これ以外の時間は事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>学生生活入門 I での学びは、大学における学修の基盤となります。しっかりとしたスタディスキルを身につけることで、大学4年間で充実したものとなるはずです。決意と情熱をもって取り組んでください。</p>